

令和6年8月吉日

関係各位

美咲特別支援学校 保護者・関係者 有志の会  
代表 澤岷 聖司 (高等部3年生保護者)  
副代表 嘉島 美香代 (中等部2年生保護者)

## 福祉避難所設置を求める署名活動について(お願い)

拝啓 盛夏の候、皆様におかれましてはますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

私たち美咲特別支援学校に子供が通う保護者、卒業生保護者は、未曾有の災害に備えて市町村、沖縄県に対して福祉避難所の設置を求める署名活動を始めました。

現在、中部地区の市町村には知的、発達障害のある人、その家族が安心して避難できる公共の福祉避難所がありません。

近年日本においては毎年のように大きな災害が発生しており、東日本大震災、熊本地震、そして今年1月の能登半島地震でも、要配慮者(高齢者、障がい者など)への対応について、課題が浮き彫りになりました。

このような状況を鑑み、私たち保護者は、「特別支援学校の福祉避難所指定」もしくは「公共の福祉避難所への直接避難」を市町村、沖縄県に求める活動を始めました。

つきましては、皆様におかれましても、福祉避難所設置を求める署名活動にご協力いただけますようお願い申し上げます。署名用紙にご署名いただきました後、大変お手数ではございますがご返送いただければ幸いです。

この活動の趣旨をご理解いただき、一人でも多くの方々に署名活動へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。ご不明な点がございましたら、ご遠慮なくご連絡ください。

何卒、ご理解とご協力を賜りますよう、重ねてお願い申し上げます。

### 記

1. 提出期限 令和6年9月30日(月)※県立美咲特別支援学校保護者 関係者 有志の会 必着でお願いいたします。
2. 提出用紙 別添「署名用紙」
3. 送付先 左下の宛先を切り取って返信用封筒に貼付してください。  
※ 恐れ入りますが、返信用郵便料金については、貴施設にてご負担ください。

(切り取り専用)

〒904-2171  
沖縄市高原4-18-16 オーシャンビュー 3F  
(ショートステイ 内)

県立美咲特別支援学校  
保護者 関係者 有志の会 御中

#### 【担当】

県立美咲特別支援学校保護者 関係者 有志の会 (澤岷)  
〒904-2171 沖縄市高原4-18-16 オーシャンビュー 3F  
(ショートステイ 内)  
TEL : 090-3795-3193 FAX : 098-989-4427  
事務局 mail jimukyoku20246@outlook.jp(赤嶺)

## 県立特別支援学校を福祉避難所に指定、 中部地域の市町村に障がい児(者)のための福祉避難所設置を求める署名

美咲特別支援学校 保護者・関係者 有志の会

代 表 澤 岷 聖 司 (高等部 3 年生保護者)

副代表 嘉 島 美 香 代 (中等部 2 年生保護者)

### 請願の理由

現在、中部地域の市町村には、知的障害のある子供とその家族が安心して避難できる福祉避難所が十分に整備されていません。発達障害のある子どもは、いつもと違う環境や大勢の人がいる場所に強い不安を感じ、衝動的な行動やパニックでの奇声、繰り返しの行動などをする傾向があります。そのため地域の避難所で過ごすことが困難と考えられます。災害時、どこにも避難できないで不安に思っている保護者は多いです。

本人やその保護者が苦痛を感じることなく、大規模災害時避難生活を送れる場所が必要と考え、県立特別支援学校を福祉避難所として開設することを要望します。

### 要望事項

- ① 沖縄市にある県立美咲特別支援学校と、うるま市兼箇段に建設する県立中部 A 特別支援学校(仮称)を福祉避難所に指定してください。
- ② 各市町村において、知的障がい児(者)が直接避難できる公共の福祉避難所の早期設置を実施してください。
- ③ 大規模災害時、指定避難所を経由しなくても、はじめから県立特別支援学校や公共の福祉避難所に避難できるように、避難したい要望があれば指定避難所開設と同時に県立特別支援学校も福祉避難所として開設してください。
- ④ 県立特別支援学校や専用の公共施設に開設する福祉避難所は、特別支援学校の生徒・卒業生等、知的障がいのある人とその家族が優先的に避難できるようにしてください(避難所の運営については、保護者も積極的に運営側として関われるようにします)。
- ⑤ 福祉避難所開設時には、必要な物資の備蓄や輸送などを円滑に行えるよう、避難物資の準備を整えてください。

※氏名・住所は、苗字を同じ場合でも略式「//」「同上」ではなく、フルネームでお書きください。

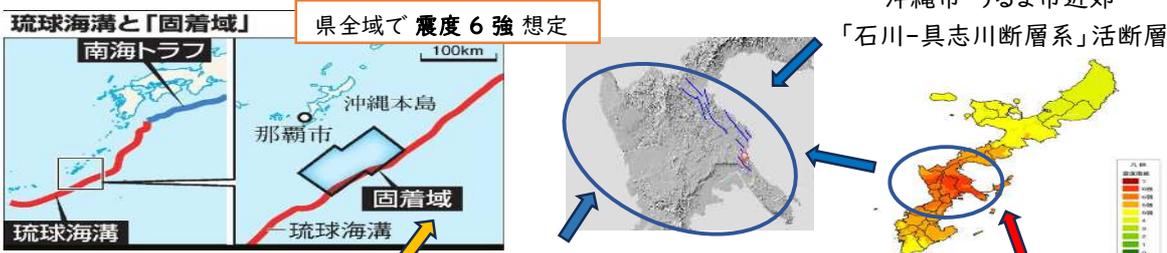
氏 名	住 所

※記載は県内在住の方のみ。ご記入いただいた個人情報はこの要望目的以外には使用しません。  
※署名用紙は、適宜コピーをしてお使いください。

# 沖縄は巨大地震が起きにくい？それは間違いです

いつ起きても  
おかしくない！

沖縄でも！東日本大震災や南海トラフ地震のような巨大地震がおきる可能性がある。  
その際 発生するとされる最大津波の高さ20mを超えると想定。



巨大地震を起す恐れのあるプレート同士のひずみが蓄積される「固着域」

そこで地震が発生した場合 震度 7 を記録した熊本地震を引き起こしたような活断層が県内でも89カ所で確認されています！

中部地区を中心に県内全域で起こりうる！



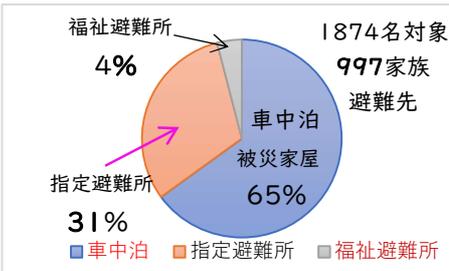
FNNプライムオンライン  
大地震起きにくい過少評価されてきた沖縄・・・実は！



だいきぼさいがい  
**大規模災害に備え**

要配慮者と家族を守るために！

## 熊本地震に関する保護者アンケート(特別支援学校 19校)



- 福祉避難所の利用を希望しても情報が入ってこなかった・・・
- 自宅の敷地内での車中泊だったため物資もなかなか届かない
- 避難所は子供の多動や奇声のため居場所がなく自宅へ戻った
- 子供の障がいについて理解されず「出ていけ」と言われた。
- 車中泊でさすがに体力が衰え子供たちのストレスも大きかった。

「避難所に行ったけど、ここは、あかん」  
言われ、車中泊を余儀なくされた



TBS NEWS DIG  
「自閉症で避難所に行けない」  
「災害弱者」のケアが課題  
輪島市の「福祉避難所」は2カ所のみ  
【news23】

## 福祉避難所へ直接避難できる仕組み作りと同時に みんなで支え合う災害ボランティアの仕組みも作りましょう！

令和3年5月、国のガイドライン改正に伴い、特別な配慮が必要な人が福祉避難所へ「直接避難」することが可能になりました。これに伴い、全国的に特別支援学校を福祉避難所として活用することを望む声が高まっています。そこで、沖縄でも特別支援学校を福祉避難所として指定する取り組みが必要だと考えています。

同時に、災害ボランティアの取り組みも必要不可欠です。行政、保護者、地域(福祉事業所・ボランティア組織等)と協力し、「地域交流型の福祉避難所ボランティア登録」を構築することで、避難訓練を通じて地域の方々との理解を深め合い、知的障がいへの理解も広がるでしょう。

私たち保護者は、各家庭でも未曾有の災害を意識し、防災意識を高めて準備を進めつつ、万が一のために安心して避難できる「知的障がい児(者)とその家族に特化した福祉避難所」の設置に向けて行政、保護者、地域が協力して取り組んでいくことが必要だと考えています。

特別支援学校を福祉避難所に指定  
障がい児(者)のための福祉避難所設置を求める活動  
県立美咲特別支援学校保護者 関係者 有志の会

連絡先：代表 澤岬 聖司 TEL: 090-3795-3193  
FAX: 098-989-4427  
mail : misakitokubetu-hinanjyo@yahoo.co.jp  
住 所 : 沖縄市高原4-18-16 オーシャンビュー 3F  
(ショートステイらず内)  
事務局mail : jimukyoku20246@outlook.jp(赤嶺)

Instagram



misaki.hogosya